

一般社団法人十勝地区トラック協会様

## 運送会社の管理者に期待されている役割 ～点呼・ミーティング・添乗指導の活用事例～

### 1. 管理者以上のドライバーは育てず

- ・プロの管理者(指導者・社内講師・社長代理)を育成
- ・他社や他者と共に学ぶ＝共学
- ・研修やミーティングで全員に伝える(教える)＋点呼や添乗指導で個別に確認する(育てる)＝教育
- ・トリプルA(あんぜんのA・あいさつのA・ありがとうのA)のドライバーを目指す

### 2. 至高の安全対策＝添乗指導

- ・全員に実施→ドライバーが納得→全社が安全
- ・国のルール(道路交通法)＋社内のルール＋自分のルール＝防衛運転
- ・プロと素人との違いは「安全確認のやり方と回数(どこを・どうやって・何回確認)」
- ・「事故を起こしていない」以上に「ルールを守り確認をする」のがプロドライバー

### 3. 社内ルールの作り方と伝え方

- ・運送会社は出荷主様と配送先様で交わされた約束を代行→「喜ばれる仕事」もしくは「叱られない仕事」
- ・事故率(下げる)→離職率(下がる)→応募率(上がる)→採用率(上がる)
- ・社内ルールを他社より細かく設定して他者より厳しく教育→ドライバーの健康と生活を守るため＝愛情表現
- ・ドライバーが配送先様(＝荷主様のお客様)から「ありがとう」と言って頂き「名前」で呼んでもらうために！
- ・物流の品質とは“人の品”と“作業の質”
- ・伝わる社内ルールは「〇〇〇をしない」よりも「△△△をしよう」
- ・伝わるミーティングのポイントは「少人数・時短・多頻度」開催
- ・社内ルールとは「過去に誰かが起こした失敗事例」から生まれた教訓

### 4. 100%の前に100点の相対点呼を目指す

- ・1人に対して1日あたり1分以上発信
- ・「名前で呼ぶ」&「指示より質問」
- ・前回の点呼時と違う箇所(異常)を探す
- ・もう二度と会えないかもしれない・・・。
- ・記録に残す＋記憶に残る＝点呼
- ・研修で聴く→自分に置き換えて考える→考えをまとめて書く→点呼時に話す
- ・始業点呼＝事故防止 終業点呼＝離職防止
- ・事故は離職の原因⇔離職は事故の原因

### 5. プロの仕事の優先順位「①正しい(安全)②美しい(品質)③早い(効率)」

- ・あいさつ→指差呼称確認→ヒューマンエラー防止
- ・身だしなみ→車両美化→防衛運転
- ・マナーよし→違反なし→事故なし



Prode Cube  
prodecube.com

株式会社プロデキューブ  
TEL 06-6136-7518  
E-mail info@prodecube.com  
URL <http://www.prodecube.com>